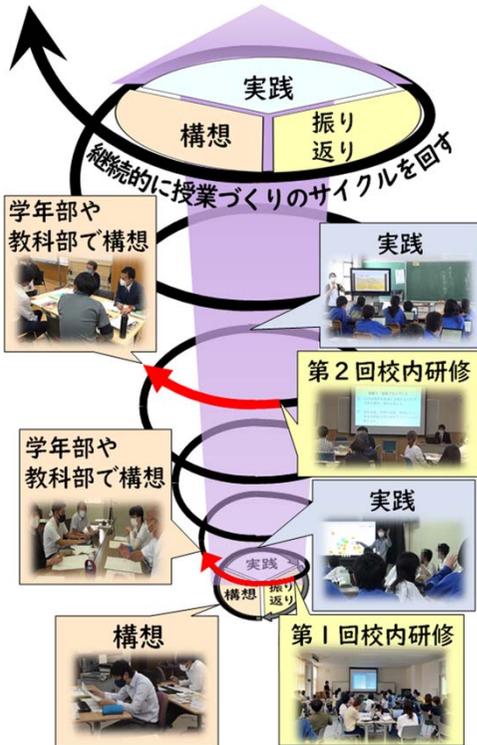


2 校内研修による学習活動の充実

校内研修のねらい

- ① 学校の指導者全体で継続的に授業づくりのサイクルを回し、児童生徒の情報活用能力を育成する。
- ② 学年部や教科部で振り返りから新たな構想を立てるステップに重点を置くことで、授業づくりのサイクルの活性化を図る。

学習活動の充実



振り返りから新たな構想を立てる

ステップに重点を置くとは

自身の実践を省察し、**成果や課題を学年部や教科部で共有し、次の実践につなげる**段階を重視することです。そうすることで、課題が明確化され次につなげることができます。

詳しくは内側の

3 校内研修モデルプランへ



4 1人1台端末を活用した授業実践動画集

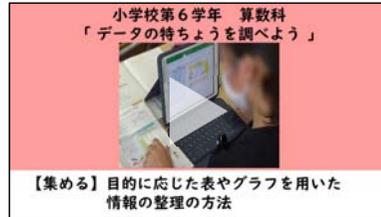
1人1台端末環境の効果的な活用に焦点を当てた学習活動のイメージをもつことができる授業実践動画集を作成しました。



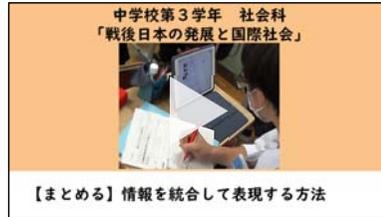
動画の閲覧には、ID・パスワードが必要です。



(令和6年3月31日まで有効)



【集める】 目的に応じた表やグラフを用いた情報の整理の方法



【まとめる】 情報を統合して表現する方法



【伝える】 聞き手とのやりとりを含む効果的なプレゼンテーション方法

「情報活用能力の体系表例」にある「問題解決・探究における情報活用」の中で示されたもののうち、三つの観点に当てはまる情報活用能力と1人1台端末を用いた児童生徒の学習活動のイメージとをつなげた構成となっています。

ぜひ、御活用ください！



滋賀県総合教育センター
「1人1台端末を活用した授業づくりプロジェクト研究」に関する研究内容・授業プランシート・校内研修シート・実践事例はこちら
<https://www.shiga-ec.ed.jp/www/contents/1641264645580/index.html>

滋賀県教育委員会
「ICT活用ガイドブック～1人1台端末による学びの質の向上に向けて～」
<https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5226488.pdf>



令和3年度

1人1台端末を活用した授業づくりプロジェクト研究

1人1台端末を活用した授業づくりサポートリーフレット

《研究主題》

小・中学校1人1台端末環境における児童生徒の情報活用能力を育成する授業づくりのあり方

—継続的に授業づくりのサイクルを回すための校内研修による学習活動の充実—



【内容】

- 1 児童生徒の情報活用能力の育成に向けて
- 2 校内研修による学習活動の充実
- 3 校内研修モデルプラン
- 4 1人1台端末を活用した授業実践動画集

1 児童生徒の情報活用能力の育成に向けて

児童生徒の情報活用能力

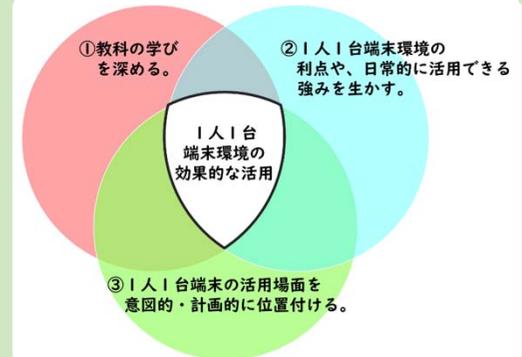
- 集める** 情報を様々な方法で収集・選択する
- まとめる** 情報を整理・比較しながら文章や図表等にまとめる
- 伝える** まとめたものをわかりやすく相手に伝える

「情報活用能力の体系表例」はこちら
https://www.mext.go.jp/content/20201014-mxt_jogai01-100003163_005.pdf



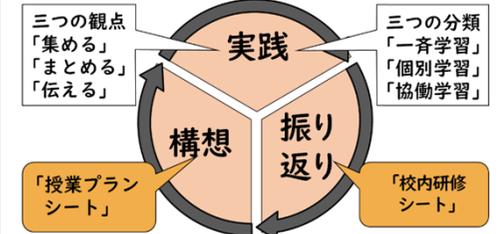
1人1台端末環境の効果的な活用に焦点を当てた学習活動の充実を図ることで、児童生徒の情報活用能力を育成します。

1人1台端末環境の効果的な活用



授業づくりのサイクル

本研究における授業づくりでは、児童生徒の情報活用能力を継続的に育成するために、構想、実践、振り返りを授業づくりのサイクルとし、繰り返し行うこととします。



最終ページのQRコードからシートを閲覧できます！

3 校内研修モデルプラン

プランは二つあります。

1 学期

実態と課題の把握

1人1台端末をどのように活用しているのかな？
児童生徒の情報活用能力はバランスよく育成できているのかな？

本時のねらい	育感したい情報活用能力
情報活用の実践力育成の観点(複数可) □集める □まとめる □伝える	1人1台端末環境での学習場面の分類(複数可) □一斉学習 □個別学習 □協働学習

第1回校内研修

自校の実態と課題を全体で共有し、課題である「○○○○」を感じてもらおう。次に、学年部や教科部で実践を振り返ってもらい、2学期からの授業を構想しよう。

振り返りから新たな構想を立てるステップ 授業実践

第1回校内研修 振り返りから新たな構想を立てる 実践	第2回校内研修 振り返りから新たな構想を立てる 実践
授業の振り返り	授業の振り返り

第1回校内研修で作成した「授業プランシート」を基に実践し、「校内研修シート」を用いて成果と課題を学年部や教科部で振り返ってもらおう。

第2回校内研修

第2回校内研修は研究授業と研究協議を行いたい。研究協議では、各学年部や教科部の実践発表を取り入れて新たな授業の構想につなげよう。

第1回校内研修 振り返りから新たな構想を立てる 実践	第2回校内研修 振り返りから新たな構想を立てる 実践
授業の振り返り	授業の振り返り

継続的に授業づくりのサイクルを回す

夏休み

2 学期

プラン(1)

校内のリーダーを育成し、継続的に授業づくりのサイクルを回すモデル

アンケートの結果から

伝える力の育成に課題がありそうだ。
1人1台端末を活用した授業イメージがもてていない。

校内研修のねらい

研究授業を基に、伝える力を育成する授業づくりについて協議することを通して、1人1台端末を活用した授業の具体的なイメージを広げ、理解を深める。

リーダーが授業のイメージをつくる

伝える力を育成するために、児童が相手や目的を意識して作成したスライドを用いて、紹介する時間にしたい。 → [A]へ

学年部で振り返って新たな構想を立てる

教科のねらいを達成できるよう端末を活用することが大切だと分かった。
一人ひとりの考えをすぐに共有できる1人1台端末のよさを生かしていくことが大切だ。

リーダーを中心に継続的に取り組むヒント

リーダーの授業イメージを基に、学校全体のICT活用を広げよう。

授業を実践して振り返る

1人1台端末をどのように使うと効果的なのか悩んでいる学年部がいます。どうしたらいいですか？

そうだね。さらにイメージを共有できるように、1人1台端末の活用場面を共有するために協働支援ツール内で実践を共有してみませんか。

研究授業の成果と課題を共有する

児童が意見交流の際に、全員の考えを一覧で画面共有することで、同じ考えの人を探し、目的意識をもって交流することができた。

新たな授業の構想につなげる

さらに児童が相手意識をもって伝えることができるようにし、付けたい力を深める効果的な場面を見つけていきたいなあ。

今後取り組みたいこと

今後も学年部での協議を通して、ICTの効果的な活用場面の共通理解を図り、学校の指導者全体で学習活動を充実させていきたい。

プラン(2)

一人ひとりの授業づくりを学校の指導者全体と共有し、継続的に授業づくりのサイクルを回すモデル

アンケートの結果から

まとめる力の育成に課題がありそうだ。
1人1台端末に不慣れな指導者が多い。

校内研修のねらい

研究授業を基に、まとめる力の育成を目指す授業づくりについて協議することを通して、指導力を高める。

一人ひとりが授業のイメージをつくる

まとめる力を育成するために、分類したり関連付けたりするなどの情報を整理する時間にしたい。 → [B]へ

教科部で振り返って新たな構想を立てる

データの出どころや情報の信憑性等を正しく読み取ることや、複数の情報を比較して自分の意見をまとめることが課題だ。

教科部の振り返りで出た課題の「いくつかの資料を比較すること」について、生徒が班で意見を比較する際に、共通の視点をもつことで学びが深まるだろう。

授業を実践して振り返る

各自の画面で即時に共有することができ、作者の心情や表現の意図と工夫について時間をかけて考えることができた。

学校の指導者全体と共有するヒント

美術科の授業の様子を一枚のシートにまとめて、学校の指導者全体に広めよう。

研究授業の成果と課題を共有する

指導者が生徒の取組状況を一目で把握することで、早く支援することができた。

生徒が友達の意見を瞬時に共有することで、自分の意見を修正したり追記したりすることができた。

新たな授業の構想につなげる

動物や植物を仲間分けする活動で、試行錯誤を通してまとめることができるようにし、理解を深めることにつなげたいなあ。

今後取り組みたいこと

今後も、校内研修や教科部での協議をすることで、学校の指導者全体で生徒の情報活用能力を育成する授業づくりの質をさらに高めていきたい。

[A] 伝える力を育成する授業づくり

小学校第6学年 外国語科 「Let's go to Italy.」

伝える力を育成するために、本時の学習を、1人1台端末を用いてスライドに示しながら、おすすめしたい国を紹介する時間に位置付けました。児童が相手や目的を意識し、発表におけるポイントを見いだすことで、表現の幅が広がるように設定しました。



授業づくりのポイント 発表におけるポイントを見いだす

- ①単元計画を立てる際に、おすすめの写真を集め、整理し、発表に使う写真を選びスライドにまとめる時間を設定しました。そうすることで、児童は相手や目的を意識して伝えることができました。
- ②本時の導入の際に指導者自身が紹介の様子を児童に見せることで、児童が発表におけるポイント「相手の目を見る」「ジェスチャーやリアクションを入れる」「気持ちをこめる」「相手に対して問いかける」を見いだすことができました。
- ③児童の作業画面を一覧表示し、他の児童の画面を見られるようにすることで、児童が考えを見直したり深めたりすることができました。

1人1台端末だからこそ、こんなことができました!

- ・目的に応じた情報を集めること
- ・相手を意識し、表現の幅を広げること

[B] まとめる力を育成する授業づくり

中学校第3学年 社会科 「戦後日本の発展と国際社会」

まとめる力を育成するために、本時の学習を、1人1台端末を用いて分類したり関連付けたりするなどの情報を整理する時間に位置付けました。生徒が発表に向けたリハーサルを繰り返すことで、全体の構成を考えることができるように設定しました。



授業づくりのポイント 聞き手を意識してまとめる

- ①説明することを整理する中で、本時の学習内容について、理解を深めることができました。
- ②発表に向けたリハーサルを繰り返し行う中で、原稿を修正したりスライドの順番を入れ替えたりする等、自分の考えが聞き手に正しく伝わるように構成を考えることができました。
- ③全体で具体例を共有したことは、他の事例としてどのようなものがあるかを調べたり、調べたことがどのように関連しているのかをまとめたりするための手立てとなりました。

1人1台端末だからこそ、こんなことができました!

- ・比較や分類・関連付けなど、情報を整理すること
- ・目的に応じて、情報を統合して表現すること
- ・聞き手とのやりとりを含めて表現すること